

一般財団法人岐阜市にぎわいまち公社

平成25年度 業務報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

1 まちづくり活動支援事業

地域住民の主体的なまちづくり活動の推進を図るため、活動の支援・育成を主な目的として以下の業務を行った。

(1) まちづくり活動支援業務

まちなかの再生や個性ある魅力的なまちなみの形成を目指し、また、景観整備機構として岐阜市景観基本計画に基づき各種の事業を行った。

① まちづくり活動の支援及び育成に関すること

ア 活動経費の助成

市内の一定地域における「まちづくり」を積極的に推進しようとする団体に対し、広報誌の発行・研修会・イベントなど調査・研究等の活動経費の一部を助成した。

○「加納まちづくり会」 — 岐阜市景観形成市民団体（岐阜市景観条例）

イ まちづくり組織へのアドバイザーの派遣業務

地域のまちづくり活動に取り組む団体に対し、アドバイザーを派遣しまちづくりに関する助言や相談を行った。（各種専門家のアドバイザーを26名登録）

○問屋町西部北街区再開発研究会 3回

ウ まちづくり相談業務

まちづくり活動団体や地域のまちづくり・景観形成に携わる個人からの相談・依頼等へ適切に対応し、団体活動へ参加して情報提供や意見交換、相談等を行った。

<主な活動参加団体>

景観形成市民団体6（鶉飼屋・美殿町・川原町・伊奈波・加納・井の口）

景観サロン、まちづくりセンター、長良川おんぱく、御鯨街道ウォーキングなど

② まちづくりの推進、啓発及び情報の提供に関すること

ア パンフレット等まちづくり啓発資料の提供

広報誌やホームページ等を活用し、まちづくりに関わる情報を発信し啓発に努めるとともに、フェイスブックによる新たな交流の場も提供した。

○「にぎわいまち公社だより」の発行 — 第34～37号を各1000部作成し配布

イ まちづくり事業に関すること

市民が、地域に存在する魅力あるヒト・モノ・コトに触れ、知識を得て、理解を深めることで、自分の地域のまちづくりを進めていけるよう次の事業を行った。

○まちづくりリーダー養成講座の実施

「岐阜まちづくりコーディネーター養成講座～つなぐ人カレッジ～」全5回

わかりやすい講義と実践的な実習（グループワーク等）を通して、コーディネ

ーターとして必要な役割や技術を基礎から学ぶ講座を実施した。

○僕と私の岐阜まちづくり事業の実施（「第9回わがまち探検マップコンクール」）

テーマ：「見つけよう！ あなたのまちのあんなこと こんなこと」

募集内容：小・中学生が住んでいるまちの絵地図

目的：小・中学生が自分のまちを見て、まちを知り、まちを絵地図で表現することで、自分がまちの一員であるという意識を抱くきっかけづくり
応募総数69件、一次審査、公開審査、一般投票により各賞を決定した。

ウ まちづくりの情報の提供に関すること

○「にぎわいまちサロン」及び「まちづくりライブラリー」の開設と管理

○ラジオ放送等による情報の発信、フェイスブックによる交流の場の提供

③ まちづくりの調査研究に関すること

ア 他都市事例等まちづくりに関する資料収集に関すること

歴史的なまちなみの保存・活用など景観まちづくりの事例や手法、先進都市の取り組みについて、現地調査も行いながら岐阜市での活用について検討した。

○新潟市、まちづくり学校視察研修、小倉市、飯塚市

イ まちづくり事業の制度・手法の調査研究に関すること

○「都市づくりと景観行政講習会」において発表（東京都）

○「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議」において講演（長岡市）

○「京町家まちづくりファンド報告会」に参加（京都市）

○地域自治研究会、中心市街地活性化研究会に参加（岐阜市）

④ ぎふ景観まちづくりファンドに関すること

目的：歴史的景観の形成に係る民間のまちづくり事業に対して助成を行い、市民の景観形成に対する意識と歴史的景観を守り育て、岐阜ならではの個性豊かな美しいまちなみを後世に継承していくこと

事業承諾：1件、助成：3件（24年度までに承諾し、25年度完成の事業を含む。）

啓発事業：パンフレットの作成、広報紙やホームページ、タウン誌などによるPR
金華地区の町家などの基礎調査

⑤ 低炭素型まちづくり活動の支援・啓発に関すること

目的：市民の住宅用太陽光発電システムの導入による二酸化炭素削減量を国内クレジット化し、企業・団体への売却益は「元気なぎふ応援基金」に寄附して社会貢献するという、新たなまちづくり活動を構築すること

公社の役割：二酸化炭素排出削減事業の共同実施者として、国内クレジットを企業等に売却し、利益を事業実施者の「ぎふし減CO2倶楽部」に譲渡する

平成25年度岐阜市産国内クレジットの量：32 tCO2

⑥ その他まちづくりに関すること

「都市づくりと景観行政講習会」、「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議」の事例発表などを通じて、まちづくりに関する活動をアピールした。

(2) まちなか歩き回廊推進業務

「岐阜市まちなか歩き構想」に基づき、歴史ある岐阜の魅力に接し、心の豊かさが感じられる空間の「まちなか歩き回廊」や「スマートウエルネスぎふ」の実現に向け、広域にわたるまちなか歩き・まちなか観光の推進を主目的に事業を実施した。

① まちなか歩き回廊に関する調査研究に関すること

事業成果の検討に活用するため、まちなか歩き構想の対象地域である長良川右岸地区・金華地区・加納地区に係る歩行者通行量を調査した。

○歩行者通行量調査 — 11月に歩行者と自転車の通行量を調査

② まちなか歩き回廊の情報の収集及び提供に関すること

携帯電話を活用してまちなか歩きを支援する「ぎふ・いざナビシステム」を再構築し、さらなる利活用を推進するため新システムに関する検討を行った。

③ まちなか歩き・健幸等イベント実施に関すること

スローライフ・スローツーリズムの一環として道路や案内板等のハード整備を進める中、岐阜市の歴史・文化等の資源により物語性を付加することで回遊性を高め、また「スマートウエルネスぎふ」に向けたイベントを地域住民と協力して実施した。
ア 「瑞龍寺山歴史ウォーク」 ～古代の岐阜を訪ねて「はじめの王」と出会う～
イ 「まちなか看板しりとり in 柳ヶ瀬」 — 店や看板を探索しながら柳ヶ瀬を楽しむ

(3) 岐阜公園総合案内所運營業務

岐阜市民や岐阜市を訪れた人が、岐阜の歴史や文化等を感じながら「まちなか歩き」を楽しむことができるよう、専門的な知識を有する職員が情報発信や案内を行った。

2 中心市街地活性化事業

平成18年に岐阜市から『中心市街地整備推進機構』の指定を受けて以来、中心市街地の都市機能の増進を図るとともに、「中心市街地活性化協議会」の構成員として「2期 岐阜市中心市街地活性化基本計画」に基づく各種事業を推進した。

(1) 中心市街地活性化推進業務

① 中心市街地建て替え促進事業

中心市街地のまちなか居住を推進するため、安全・安心・魅力的なまちづくりを基本とする啓発活動を進める中、地権者の建て替え等に関する意向調査と分析、意欲ある地権者の抽出と関連情報の提供などを実施した。

② まちの魅力PR事業

岐阜の歴史・文化・文学や柳ヶ瀬などまちの魅力を伝え、“にぎわいの創出”と“まちの回遊性”を推進するため、中心市街地で下記の事業を実施した。

ア たなばたまつり2013 in やながせ — 園児等が作った七夕飾りを店先に飾る
イ 岐阜まち物語 第8幕 — 歌、お話、紙芝居、ファッションショーなどで魅力を伝える
ウ クリスマスカざり2013 in やながせ — 園児等が作った作品を店先に飾る

③ 柳ヶ瀬プロデュース事業

柳ヶ瀬の賑わいを創出するための柳ヶ瀬まちなか写真館プロジェクトを継続し、「柳ヶ瀬まちなか写真館」の展示物の維持管理を行い、柳ヶ瀬プロデュースチームの成果と課題などを踏まえたチーム運営に関する提案をとりまとめた。

(2) 柳ヶ瀬にぎわい創出事業 — 『柳ヶ瀬商店街探検隊』の実施

小学3年生が商店街について学習する社会見学プログラムを商店街と協力して提供した。子ども達がインタビューや体験を通じて柳ヶ瀬地区と個店の魅力や特徴を理解し、本人だけでなく家族や友人などへと繋がる柳ヶ瀬ファンづくりを推進した。

○33校（内1校は市外）約2,200人が社会見学プログラムを体験

(3) 柳ヶ瀬あい愛ステーションの運営（情報発信拠点整備事業）

柳ヶ瀬の空き店舗を活用し、まちなかの情報発信・交流拠点・公益的機能を持ったまちなか拠点として平成20年に開設して以来、継続した企画・運営を行った。ラジオ放送（週2回）や柳ヶ瀬地域の店舗やイベント情報などを発信し、まちなかギャラリーや集会などの交流の拠点として、また多目的トイレや授乳室のサービスを提供するなど、まちのコンシェルジュとしてまちの活性化とにぎわいの創出に努めた。

(4) レンタサイクル管理業務

スローライフのまちづくりの理念の下、市民や本市を訪れた皆さんが自転車を近距離交通の手段として利用することで、市民の健康増進、街のにぎわい及び観光の促進を図ることを目的として、レンタサイクルポートの管理運営業務を行った。

○レンタサイクルポート — 市内に以下の5か所を設置

JR岐阜駅南口、岐阜市役所南庁舎、岐阜公園総合案内所
鶯飼観覧船のりば、長良川うかいミュージアム

○イベント時の臨時ポートの開設 — 金公園（健康まつり、健幸ウォーク）

○レンタサイクル管理台数：110台、1日平均利用台数：43台 前年より微増
なお、子ども用自転車のレンタサイクルは、以下の3か所に設置し、平成23年度から順次開始

○岐阜公園総合案内所、JR岐阜駅南口、長良川うかいミュージアム

(5) 中心商店街活性化総合対策事業

中心商店街の活性化に関する専門的な知識やネットワークを有する「商店街活性化プロデューサー」を中心に、商店街関係者と連携して空き店舗の利活用や販売力の向上に資する業務を実施するなど、中心商店街の活性化を積極的に推進することを目的として、『商店街活性化プロデューサー活動計画』に基づき以下の活動を行った。

① 中心商店街活性化プロデュース業務

ア 空き店舗の利活用に関する仕組みの企画・提案・運営アドバイスについて

○美殿町「まちでつくるビル」の運営支援

○「まちでつくるビル」に続く空きビル活用の企画・提案・相談対応

イ 商店街の売上げ向上や個店の魅力アップのための基礎調査について

- 柳ヶ瀬地区の現状調査と分析、権利者関係調査、個店の売上調査など
- ウ 商店街の売上げ向上や魅力アップに繋がるワークショップ・セミナーの企画・提案及びコーディネートについて
- ジュラシックアーケード2013のプロデュース
- 柳ヶ瀬集会コーディネート
- 柳ヶ瀬商店街等の事業・会議・セミナーへの参加、相談と助言

② 中心商店街空き店舗対策業務

- ア 「2期 岐阜市中心市街地活性化基本計画」に基づく店舗数把握調査・分析及び報告書作成 — 年1回
- イ 中心商店街における空き店舗調査・内容精査及び報告書作成 — 年4回
- ウ 新規出店の店舗数報告 — 年8回
- エ 空き店舗ツアー・出店希望者相談会の開催 — 年4回
- オ WEBを活用した中心商店街の空き店舗情報の提供強化 — 76件の更新
- カ 出店希望者に対する、空き店舗物件の詳細情報の提供 — 54件の相談
- 岐阜市空き店舗活用ガイドの編集作業

(6) 中心市街地都市開発まちづくり支援業務事業

目的：玉宮地区に点在する空き家や駐車場などの低未利用地を、区画整理手法により集約し、まちなか居住の建築物などを建設するため各種の活動を支援する。

平成25年度は、地権者のまちづくりへの意識醸成や建築物の共同化事業への理解を深めるため、まちなか再生協議会の設立、地権者の勉強会、相談体制の確立を目的とする活動を支援するとともに、それぞれの問題・課題を整理し今後の活用を図った。

(7) 商店街の創業促進事業

美殿町の「まちでつくるビル」プロジェクトの企画が、(株)全国商店街支援センターの“商店街の創業促進事業”に、継続事業として昨年度に続き採択された。

○平成24年度：「まちでつくるビル」4フロアを9区画に小割し、個人の創業希望者に貸し出すための仕組みや、事業の実施体制づくりにより開業支援を行った。

○平成25年度：「つくるがある町・美殿町」のコンセプトを定着し具体化するため、「市マーケット」を中心とした新たなコミュニティづくりに取り組んだ。

- ・遊休不動産や空き地を活用した「美殿町つくる市」の開催。1階入居者の決定。
- ・入居者と商店街との新たなコミュニティの形成。ビル運営方法の確立。

◆『がんばる商店街30選』（経済産業省）に美殿町商店街振興組合を選定

【選定理由】にぎわいまち公社と合同で創業促進チームを結成し、《つくるがある町》をテーマに、創業を志す人の拠点として空きビルを改装し、「まちでつくるビル」としてクリエイターに賃貸する新しい取り組みを行い、空き店舗が減少している。

3 駐車場指定管理事業

岐阜市駅西駐車場623台及び岐阜シティ・タワー43地下駐車場56台の指定管理者として、公社の定めた「運営管理の基本方針」に基づき、『利便性があり、安全で

安心でき、防災に強い駐車場』を目指し、公平・公正なサービスを提供した。

また、岐阜駅北口団体バス乗降場の緊急故障等に対応するとともに、駅西駐車場に岐阜市が設置した電気自動車用急速充電器の一般開放に伴う管理業務も行った。